



## 小笠原で暮らすイルカたち

### 「干支セトラ」

個体識別番号#27のミナミハンドウイルカは、チューヤンというニックネームがイルカ調査隊の間でつけられています。今年の干支のネズミの“チュー”という訳ではないのですが、背びれの欠損がチュー（キス）をしようとしている人の横顔に見えることから、つけられました。写真の背びれをよ〜く見ていると、だんだんそう見えてきませんか。

このイルカ、2001年から毎年観察されており、古くは1996年にも確認されています。チューヤンは、子年の今年も元気に私たちの前に姿を現してくれるでしょうか。



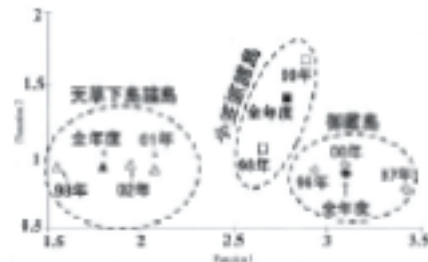
チューヤン



### 「イルカにも方言!？」

私たち同様、イルカたちも声（音）でコミュニケーションをとっています。イルカが発するピューーなどと聞こえる音はホイッスルと呼ばれ、会話のための音ではないかといわれています。このホイッスルを小笠原、御蔵島、天草（熊本）のミナミハンドウイルカで比較したところ、小笠原や御蔵島は大きく変化する複雑なホイッスルを発していました。さらに細かく分析すると、小笠原と御蔵島の間にも違いがみられ、まるで、方言のように海域ごとに特徴がありました。では、どうしてこのような違いができたのでしょうか。海の中のうるささに注目してみたところ、小笠原や御蔵島は静かで、天草はうるさいことがわかりました。このうるささの主因はテッポウエビが出す音で、イルカたちは小さなエビが出す音によってホイッスルを変えざるを得なかったのではないかと考えられています。

人がうるさくて・・・とイルカたちに言われなないようにしないと。



発生音の海域間の比較

Ohtsuka et al. 2004

## クジラ展

～もっと知りたいザトウのこと～

2月7日より小笠原ビジターセンターにて「クジラ展」があります。実物大のザトウクジラパネルは迫力ありますよ！ぜひ、ご覧ください。



場 所・小笠原ビジターセンター

開催日時・2月7日より

開館時間・おがさわら丸入港中  
8：30～17：00

入館料・無 料

お問合せ・04998-2-3001

東京都小笠原支庁土木課白礁公園係/BI O (※コンテナ内) 伊豆協会/協力・小笠原4E-40おたけが 協会

